

月刊 かわごえ環境ネット



2017年8月号 No.130

http://kawagoekankyo.net

2017年8月7日発行 編集・発行：かわごえ環境ネット

群馬県の実験施設視察研修 (9月15日)

環境施設視察研修会 参加者募集

グッドデザイン賞を受賞したサンデン(株)の赤城事業所、一年を通じて様々な花が咲き誇る「ぐんまフラワーパーク」を見学します。赤城事業所の工場と地球環境にやさしい整備された森林やビオトープなどを視察、私たちの心を癒してくれる花園を楽しんで、望ましい川越の環境像をイメージしましょう。ご参加をお待ちしています。

■日時 2017年9月15日(金) 雨天決行
■参加費 3,000円(フラワーパーク入園料込み)
 各自弁当を持参願います。上里SA売店で購入可能
 フラワーパークにレストラン有り
■募集対象者 かわごえ環境ネット会員
 個人会員とその家族、民間団体会員の構成員とその家族
 事業者会員の社員とその家族、行政の職員
■募集人数 28人 先着受付順 **受付開始8月10日(木)**
■申込先 パソコンメール又はFAXで、お名前と連絡先の電話番号を
 かわごえ環境ネット：板野まで
 メールアドレス itango_m-t@com.zaq.ne.jp
 FAX 049-225-6729



ぐんまフラワーパーク (前橋市柏倉町2471-7)
 赤城山麓に広がる県立の植物園。総面積18haの園内では年14回の花フェスタや5種の温室で一年中美しい花が楽しめる。秋はダリア、センニチコウ、ナデシコ、バラ等が鮮やか。園内にはレストランや売店があり、芝生が多くシートを敷いて花を眺めながらのんびりしたい時間を過ごすことができます。

整備された森林 **オオムラサキの飼育と幼虫**
 サンデン(株)が赤城山麓に設置した自販機製造工場です。開発前の敷地は未整備の荒蕪した森林でしたが、敷地面積6.4haの約半分を森林として整備し、残る半分を工場用地とした。開発に当たり自然本来の回復力で生態系が復元できるような民間で初の規模的な近自然工法を採用。現在は開発以前より多様な生物種が確認され、2012年にはグッドデザイン賞を受賞した。

企画 かわごえ環境ネット 社会環境部会
 事務局 川越市環境部環境政策課 電話 049-224-5866

本会会員対象行事として環境施設視察研修会を9月15日(金)に開催。8月10日(木)より受付。(詳細12ページ、トピック①)

「那須平成の森を訪ねて」(10月18日)

自然観察研修会 那須御用邸として管理されていた 那須平成の森を訪ねて

栃木県那須市にある那須平成の森を訪ねます。那須連山の山麓に広がる森(560ヘクタール)は、希少種をはじめ多くの動植物が生息・生育しています。この豊かで多様な森で自然環境について学びます。

■日時 2017年10月18日(水) 少雨決行
■参加費 4,000円 弁当各自持参
■研修対象者 かわごえ環境ネット会員
 個人会員とその家族、民間団体会員の構成員とその家族
 事業者会員の社員とその家族、行政の職員
■募集人数 45人 先着受付順 **受付8月10日(木)より**
■申込先 かわごえ環境ネット **買込 携帯: 080-1158-9673**
菊地 携帯: 080-5546-2362

■行程 7時15分 川越駅西口 ウェスタ川越前集合
 7時20分 出発 途中休憩あり(弁当購入可)
 川越IC・関越・圏央道・東北道・那須IC経由
 放生石を車中から眺めます。
 10時00分 那須ビジターセンター 到着
 10時30分 那須フィールドセンター
 センターで那須の自然の説明を受けます。
 その後紅葉の森を巡ります。
 14時00分 出発 途中千本松牧場で休憩、西那須野温泉IC経由
 17時30分 川越駅西口 ウェスタ川越前 到着
 ※交通事情により遅れる場合あり



那須平成の森の概要
 那須平成の森は、那須連山の山麓に広がる森(560ヘクタール)は、希少種をはじめ多くの動植物が生息・生育しています。この豊かで多様な森で自然環境について学びます。

かわごえ環境ネット 自然環境部会
 事務局 川越市環境部環境政策課 電話 049-224-5866

本会会員対象行事として自然観察研修会を10月18日(水)に開催。8月10日(木)より受付。(詳細12ページ、トピック②)

目次

コラム	川越の自然を訪ねて (56) 菅間緑地.....	2
	私のエコ体験 (14) 「パリ協定」の行方は.....	3-4
報告	かわごえ環境ネットの活動 (5題)	4-8
	会員の活動 (2題)	9-10
	理事会・専門委員会 (3題)	10-12
予告	かわごえ環境ネットの主催・出展・後援行事 (6題)	12-14
	会員・関係団体の主催・関連行事 (7題)	14-16
	広報委員会からのお知らせ.....	16-17
	イベントカレンダー (8月9日~9月30日)	18

【コラム】川越の自然を訪ねて (56) 菅間緑地

菅間緑地は市の北東、芳野台の川越工業団地近くにあり、面積7,000m²、遠くから見ると緑の浮島のような様子です。ここは、元は民家と田んぼがあったとすることで、川越市が1997（平成9）年5月に都市公園として一般開放しました。北側に緑地と野鳥観察デッキがあり、それ以外の樹林はフェンスで囲われ、普段は施錠されています。道路を挟んで南側に駐車場とトイレ、簡単な遊具があります。

かわごえ環境ネット自然環境部会では、6月23日（金）、10年ぶりくらいに菅間緑地を訪ねました。当日は公園管理事務所から鍵を借りて出向きました。入ってまず目の前に池があります。以前は農家の井戸があったところで、現在は地下水をポンプアップして流しています。よい水場なのですが、残念なことにアカウキクサが水面を覆っていて、光が中に入りません。水

鳥も魚もこれでは生息できません。管理者の公園整備課によると、年に3回、業者により全部一掃されているとのことですが、すぐに繁茂するようです。樹林は、もと屋敷林だった名残で柿、茶、竹など生活に近い木が見られます。公園化にあたって、サクラ、ケヤキなど植栽したとすることで、ナンキンハゼ、ヤマモモなども大きく育っています。北側の奥はジャングル状態でシュロ、マダケなどが繁茂しています。手入れは竹の除伐くらいでありあまりしていないとのこと。小さな池があつて湧水か、雨水かと思われ

ます。野鳥はシジュウカラ、オナガ、キジバトが見られましたが、樹木も多くあり閉鎖されているのでサンクチュアリの役割にはなっているでしょう。外の野鳥観察窓から中をうかがうことは可能です。（賀登環）



案内板



ジャングル状態の奥の方



野鳥観察デッキ



アカウキクサに覆われた池

【コラム】私のエコ体験 (14) 「パリ協定」の行方は

前回の「私のエコ体験(6)(2016年12月号)」にて「「パリ協定」発効に思う」と題して「パリ協定」にまつわるコラムを書きましたが、その後、米国の離脱宣言という大きな変化が生じたので、再度「パリ協定」の現状について記述したいと思います。

「パリ協定」は2016年11月4日に発効し、既に147か国が批准(2017年6月1日現在)しています。この「パリ協定」は、「産業革命前から気温上昇を2℃未満に抑え、1.5℃未満にするよう努力する」を目的とするもので、CO₂排出量世界1位の中国と2位の米国(2国合せて世界の40%以上排出)がその牽引役として期待されていました。しかしながら、米国トランプ大統領は、6月2日(日本時間)に「パリ協定」離脱を表明しました。

気候変動は世界各地ですでに深刻な影響を及ぼしつつあり、世界で2,400万人に上る人々が気象災害で住む場所や職業を失い、難民化していると言われています。

ツバル、キリバスのような島しょ国では、海面上昇による国家の水没が懸念され、フィジーへの移住も検討されている状況です。また、米国アラスカでも、北極海にあるサリチュフ島で約600人の先住民が暮らしていましたが、毎年海氷面積の縮小により海岸浸食に脅かされ、移住を問う住民投票まで行われているとのことです。海氷が減ることにより光の吸収が増大して温度上昇が加速されるのです。

アラスカ大学などの研究では、アラスカ全土の38%を占める永久凍土の内、約4分の1が今世紀中に失われる恐れがあると述べています。やっかいなのは、永久凍土に閉じ込められていたメタンガスが大量に放出する可能性があることです。メタンはCO₂の25倍の温室効果があり、地球全体の温暖化が更に加速される恐れがあります。状況は、シベリアの永久凍土でも同様です。CO₂は植物・樹木による吸収がありますが、大気中のメタンを効率よく吸収する

術がないので、地球温暖化は止められなくなる恐れがあります。また、日本でも、7月に起きた九州北部での豪雨災害は記憶に新しい惨事であり、これからも、毎年繰り返される可能性があると考えられています。海水温度の上昇により、海から蒸発する水蒸気量が増加しているのが事実だからです。巨大台風・巨大ハリケーンの出現、局地的な集中豪雨等は、スーパーコンピュータによるシミュレーションでも予見されているそうです。

米国の離脱表明に話を戻しますと、各国・各種団体から非難声明の発表が相次ぎ、その多くは「アメリカは歴史的責任と義務を放棄し、科学と事実を否定し、人々の命と将来世代に深い影響を与えるこの問題を無視する米政権に強い憤りを感じる」と表明しています。メルケル首相は、「アメリカはもはや信頼できる国ではなくなった」とまで言い切っています。日本では、山本公一環境大臣(当時)が「失望に加えて怒りも覚えている」、「アメリカが離脱しても、地球温暖化対策の潮流は変わらない」と表明しました。

ただ、安倍首相からは国会答弁で「残念だ」、「パリ協定は他国と協力して進めていく」と回答しただけで、特に米国に対する強いメッセージがなかったのは残念です。また、7月8日に発表されたG20の声明でも、米国以外の19か国が温暖化対策を結束して進めることが確認されました。

では、なぜ、トランプ氏はそこまで「パリ協定」離脱にこだわったのでしょうか。彼にしてみれば、選挙公約を実行しただけかもしれません。政策として、石炭産業の復活を掲げています。石炭産出州であるペンシルバニア州、オハイオ州、ウィスコンシン州で、僅差で勝ったことにより、大統領選に勝利できたのです。したがって、パリ協定からの離脱と、石炭産業を規制する「クリーン・パワー計画」等のオバマ政権での政策撤廃は当然の帰結かもしれません。

ただ、政権内でも、ティラーソン国務長官、マティス国防長官、ペリー・エネルギー長官等は残留派ですし、全米 50 州の内 34 州がすでに排出削減の行動計画を持っていて、連邦政府の支持なしでも低炭素化を推進すると宣言しています。ニューヨークとロサンゼルス市長は、共にパリ協定を指示して行動しようとしています。

カリフォルニア州では、2025 年までに州内の電力を 100%再エネ化するとしています。また、エクソンモービル・シェル等の石油会社、GM、GE 等の製造会社の大手、その他 1,000 社以上の有名企業が、パリ協定脱退後も気温上昇を 2℃未満に抑えるために自ら行動すると誓約しています。パリ協定は、脱退を表明しても、規定上離脱を通告できるのが発効の 3 年後、さらに通告が有効になるのがその 1 年後と定められているので、実際の脱退は 4 年後となります。個人的には、新大統領の下で復帰する可能性は高いと思っています。ただ、トランプ大統領は、EPA（環境保護局）の気候変動対策費予算を 31%削減したり、国連の「緑の気候基金」の供出金 30 億ドルの内残りの 20 億ドル（10 億ドルはオバマ政権時に払った）は支払わないと言っていますので、少なからず影響は出るとは思います

が、地球温暖化防止に向けた潮流が止まることはなさそうです。

トランプ大統領のいう石炭産業復活政策ですが、いくら石炭を増産してもそれに見合う市場がないというのが大方の専門家の意見です。シェールガスの出現によって、米国の発電所は石炭火力から安価で CO₂排出量の少ない天然ガス発電と再エネ発電に置き換わりつつあります。2016 年には 27GW の発電能力の増加がありましたが、新設の 60%を風力・太陽光発電が占め、33%が天然ガス発電で、石炭火力の新設はありません。石炭労働者は炭鉱の復活を夢見ているのかもしれませんが、現在、再エネ関連分野での雇用者数は 300 万人で、年 20%規模で増大しています。年間 60 万人ずつ新たな雇用が生まれているのです。一方、石炭労働者数はわずか 7 万人で、現状維持がやっとというのが現実的な見方ではないのでしょうか。米国の雇用拡大を真剣に考えるのであれば、再エネ関連産業に労働者をシフトするよう舵取りすべきなのでしょう。トランプ大統領の政策は虚構になっていることを早く気付いてほしいと願う限りです。

（宮崎誠）

【報告】かわごえ環境ネットの活動

今成小学校自然学習支援報告（6月14日）

自然環境部会



さあ、みつけるぞ！

昨年、今成小学校から初めて自然学習支援の要請がありましたが、今年も5月終わりころに



田んぼの方のお話を聞く

3年生担当の先生から電話がありました。今成小学校は小ヶ谷の川越市保健センターの近くに

あり、周りは田んぼに囲まれ、近くに入間川も流れていて自然環境には恵まれています。街中の学校からみるとうらやましい環境です。今回は3年生2クラス54人です。6月の初め、田植えの終わった田んぼの下見をしていますと、生き物がたくさん泳いでいます。これはなかなか楽しい野外学習になりそうです。

本番は6月14日水曜日、曇りで野外活動には好都合です。子どもたちは長靴に網、ポリ袋を持参です。さっそく、道沿いの田んぼをのぞき込みます。この田んぼは在校生の〇〇君ちのおじいさんが作っていらして今日はみんなにお話をしてくれます。

いる、いる、のぞき込むと田んぼの中を動き回っているものがたくさんいます。2cmくらいの小さなオタマジャクシがいっぱい。ほとんどはアマガエル、トウキョウダルマガエルのように

です。よくみるとエビのようなものがあります。ホウネンエビです。目のよい子はミジンコもわかったようです。それぞれ取ったものを袋に入れ、木陰に入ってみんなで確認します。ここで、これらの生き物の生態をちょっと話します。「ホウネンエビは卵でじっと田んぼの土の中にいて、田植えの水が入ると生まれる、そして2週間くらいで卵を産み、また土の中で過ごす。」また、カブトエビも見つかりましたので、こちらは生きた化石といわれるほど、ユニークな形をしていて子どもたちは大喜びでした。

また、田んぼのおじいさんが、田植えから始まる稲作について話をしてくださり、この生き物学習も次第に充実してきているようです。

今回は森田、須藤、賀登勉、賀登環の4名でサポートしました。

(賀登環)



ホウネンエビとったよ



見つめる



みんなで見せ合う

高階北小学校3年生「森の自然学習」支援報告(6月19日)

自然環境部会



集めてきたものを並べる

ことは梅雨らしい雨もなく、6月19日(月)は好天に恵まれ、高階北小学校3年生3クラス91人の「森の自然学習」が実施されました。川

越南文化会館(ジョイフル)に9:30、先生方3名に引率され元気に子どもたちが到着しました。あいさつ、スタッフの紹介、森に入る時の注意などの後「(仮称)川越市森林公園」計画地の「森のさんぽ道」に踏み出しました。

いっぱいある木はコナラでカブトムシが好きな木。まっすぐのびている木はヒノキ。つまづいてしまいそうなほど土が盛り上がっていて、これはモグラの塚です。ムラサキシキブの花が咲いていたので紹介すると「げんじものがたりのですか?」という反応にはこちらがビックリです。よく知っているね。活動場所に着く前にたくさんの自然に出会います。

第2武蔵野ふれあいの森周辺でクラス毎に活動地を決め、今日の学習テーマ「身近な自然をさがそう」が開始です。みんなで顔を上げて上を見ると、高い木の葉が覆っていて、間からわずかに青空がのぞき、耳をすますと野鳥の音が聞こえる。

いろいろな葉っぱを集めて「葉っぱじゃんけん」をしたクラスもありました。落ち葉の下にはもぞもぞ動いているものがあるよ、捕まえてみよう。あるクラスではザルで落ち葉を篩い、小さな虫をたくさん見つけたみたい。ヒラタシデムシ、ハサミムシ、ダンゴムシ、ヤスデ、ミミズなど、どのクラスもいろいろ見つけたようです。朽ち木の周りにはカブトムシのふんを見つけ。クワガタの頭だけというのもありました。カラスの食べ残しです。

子どもたちが自由に歩き回って集めたものを白いシートに並べて発表しあいます。虫カップにはハサミムシやカナヘビ、ミミズ、クモの仲間。色々な形の葉っぱ、マツボックリ、ドングリなどの木の実。発表の時間が足りないほどです。葉っぱが虫に食われてボロボロになっていますが、虫は野鳥や他の動物に食べられます。動物でも植物でも命が尽きた時は地面に横たわりますが、森が死体だらけになることはありません。分解してくれるキノコや土壌生物がいて、分解物がまた次の生命につながる、という「生き物のつながり」も実感できたことでしょう。

また、秋にお会いしましょう。

今回は、横山、森田、大澤、青野、中島、関口、松永、賀登勉、賀登環で対応しました。

(賀登環)



ハサミムシ、見つけ！



広いね、どっち行く？



これ、何だろうね

「キノコの観察会」報告（7月2日）

自然環境部会



これ、なんですか？

日時：7月2日（日）9:00-12:00

講師：埼玉きのこ会（西田誠之氏、大久保彦氏）、
埼玉県生態系保護協会（稗島英憲氏）

参加者：28名、スタッフ5名

今年の梅雨は雨量が少なく、水不足の事態になっていて、雑木林も乾燥気味です。その分キノコの発生も極端に少なく、前日に下見に行った時も、明日は一体どうなることやら、と不安でした。当日は曇り、気温 28℃と熱中症の心配はなさそうです。

初めに講師からキノコについての説明です。「キノコは植物でも動物でもなく菌類という生き物。地球史では植物が海から上陸した4億年前に植物について上陸した。自分では栄養を作れないので植物と共生している。菌類が繁殖のため、地上に出て子実体を作り胞子を飛ばす。その子実体をキノコという。キノコの本体は地

中にある菌糸である。」このような話を頭に入れて、フィールドに入ります。

大勢の参加者と歩き始めますと、昨日までの不安はどこへやら、次々とキノコが見つかります。特にチビツ子たちがすごいのです。視線が低く、目もいいのか小さなものも見逃しません。

林床から赤茶色のフェルトのような頭をしたキノコを見つけました。これはアカヤマドリタケで2~3日すると大きく開いて、目立つようになります。オオツルタケ、ヤマドリタケモドキなどは大きいので目に付きます。

今はイグチの仲間のキノコが多いですが、夏以降、次第にテングタケの仲間が隆盛になります。地上性のキノコは参加者から「食べられますか？」という質問が必ず出ますが、「野生のキノコはよほど確実なもの以外は食べない」のが

無難です。

写真右下はタンポタケモドキといい、黒くて小さなキノコですが、これもチビツ子が見つかりました。土中にはツチダンゴ類があつて、それに寄生する「冬虫夏草」の類とのことで、西田さんが「よくぞ、見つけてくれました。」と感動されていました。

終わりに採取したキノコを並べ、振り返りまします。多くの参加者でしたが、途中、休憩もなく3人の講師のがんばりもあり、最期まで集中力の切れない観察会で、みなさんから「こんなにいっぱいあるなんて、驚いた！」との感想をいただきました。

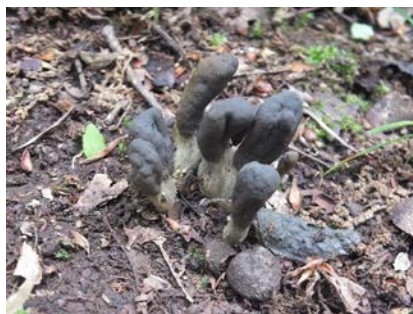
この日、講師が確認したキノコの種類は114種でした。(賀登環)



よく見つけたね



今日のキノコの解説



タンポタケモドキ

夏の郊外クリーン活動 (7月16日)



集合写真 集めたごみの一部前にして

かわごえ環境ネットは、市民、団体や事業者に参加を呼びかけ、恒例の「夏の郊外クリーン活動」を7月16日(日)に行いました。

9時30分に「やすらぎのさと」に集合した参加者は24名。昨年は25名でした。5班に分かれ国道16号などの道路や空地の清掃活動を開始、11時10分頃に「やすらぎのさと」に戻り、

集めたごみの分別作業をしました。今年は酷暑の中での活動でしたが、水分補給を行いながら無事終了しました。暑かった!!

今年も株式会社武州ガス社員有志、そのご家族と星野高校同級生3名の計10名が参加、昨年に引き続き小江戸大江戸トレニックワールドから2名が参加、ありがとうございました。

この活動はネット会員の渡辺利衛さんが、保険や各種手続き、ごみ袋・トング・ゼッケンの手配、終わった後に参加者が体を冷やす飲み物の用意などを、すべて行っていただくことにより行うことができました。ありがとうございました。(菊地三生)



やすらぎの里に24名が集合
小瀬理事長の挨拶



渡辺さんの活動内容の説明



武州ガスさんの有志と星野高校の方々



小江戸大江戸トレーニングワールドの
方々



タバコの吸いがらを丹念に拾う
星野高校生徒さん



集めたごみを分別します

「エコプロダクツ川越 2017」 出展（7月23日）



手芸風景



はし作り



野外での水ロケット発射風景

7月23日（日）「エコプロダクツ川越 2017」が行われました。例年より小学生の参加が多かったような気がします。夏休みのイベントとして定着してきたのでしょうか。各出展ブースも趣向を凝らしたワークショップが多く、行列がたたくさんできていました。

かわごえ環境ネットは、五角形の箸作りとアクリルタワシ作り、ペットボトルロケットの制作と飛ばし実験、電気の点灯実験のワークショップと地球温暖化防止に関するパネル展示やミミズ、生ゴミ、環境家計簿、川の活動、緑のカーテン展示をしました。

ある保護者から「小学校ではこのペットボトルロケットを夏休みに抽選で行っていて、いつも外れていたのが、こんな大きなロケットが作れて嬉しい。」との声をもらいました。夏休みの自由研究の一つになってくれればと願います。

今年も、フォーラム等で後援をいただいている事業所のパネル展示をしました。各事業所の環境への取り組みも多岐にわたっているので、来訪者への啓発になればと願っているのですが、パネル展示だけでは関心が薄いので、来年度はワークショップを考えねばと個人的に妄想中。

（横山三枝子）

【報告】会員の活動

生きもの調査（動物編）で生物多様性を肌で学ぼう

かわごえ里山イニシアチブ



大勢の参加者で賑わいました



用水路は生きものがいっぱい



田んぼは生きものの宝庫

6月24日（土）かわごえ里山イニシアチブとかわごえ環境ネットとの共催で「田んぼの生きもの調査（動物編）」を行いました。大勢の子供たちを含め総勢75名が参加しました。

調査場所は、かわごえ里山イニシアチブの活動拠点である福田の田んぼの「CO 江戸かわごえ初雁の里」。講師は食楽風土（くらふード）の林鷹央（はやしたかお）講師。

田んぼ班とマコモ田班の二手に分かれて田んぼの周りを一回りして生きものを探しました。

田んぼではアオモンイトトンボ、トウキョウダルマガエル（絶滅危惧種）、ドジョウ、コモリグモなどの生きものを見つけました。

マコモ田にはイチョウウキゴケ、タモロコやドジョウ、外来生物のウシガエルの鳴き声も聞かれます。マコモ田にはアマガエルが多く、田んぼではトウキョウダルマガエルが多く、これはトウキョウダルマガエルがアマガエルを食べてしまうからだそうです。

隣接した田んぼであっても、そこに暮らす生きものが異なるのを発見したりして、いかに自然が微妙なバランスの上で成り立っているかを実感することができました。

用水路には、ハグロトンボのヤゴ、ドジョウ、フナ、タモロコ、ヒメタニシ、ハイイロゲンゴロウの幼虫、コガムシ、アマガエルのオタマジャクシ、ヌマエビなど多くの生きものが見られました。

お米はたくさんの生きものによって育まれます。コガムシの幼虫が獲物を豪快に食べる姿の

発見や、林講師の生きものの生態についての絶妙なトークに、子どもも大人も田んぼの生きものの世界に引き込まれていきました。

生きもの探しの後は、林鷹央講師自らが考案した「田んぼの生きもの環境チェックシート」で、出現した生きものの種類をAからDの4つのグループに分類し点数付けを行います。この総合点数で田んぼの環境度合いを計ります。

Aグループはホタル、タガメ、モリアオガエルなど希少度の高い生きもの。B、Cとなるに従って、多少の環境が悪くても生きていける生きものです。

Aは1種類が見つければ5点、Bは3点、Cは1点と生きものの種類が多いほど高得点となります。Dグループは外来種なので、こちらは見つかりると2点の減点です。

Aはいなくて、Bは8種類で24点、Cは10種類で10点。Dの外来種が4種類いたので、合計で26点となりました。

林講師は「都市型の田んぼなので、外来種が見つかるのは避けられないが、よい状態の田んぼです」と評価。泥の中を丹念に探せば、もう何種類か見つかるそうです

かわごえ里山イニシアチブでは、今後も無農薬田んぼである「CO 江戸かわごえ初雁の里」の環境度合いを生きものを通じて調べていきます。

なお、この記事はカワゴエマスメディアの白井氏の記事を引用して再構成しました。

<http://koedo.info/170626kawagoesatoyama/>

（増田純一）

親子で里山体験と木工教室

東洋大学川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊



36名の集合写真



雨のため「こもれびの道」を散策



自然再生エリアの見学



材料選び



思い思いの作品を製作中



制作物の発表

今年で4年目の活動となるこもれびの森・里山支援隊ですが、任意組織時代における活動は、大きく「森林整備施業」と「森林環境養育」に分かれ、前者は大人が活動の中心となり、後者は子どもも含めた初心者向けの行事や専門家を交えた調査活動が含まれています。

大学内の組織になってからの初めての森林環境教育の行事として、「親子で里山体験と木工教室」を7月30日(日)9:30-11:30に開催しました。雨にもかかわらず、一般参加者とスタッフを含め36名の参加者という、大学祭への出展を除けば、今までで一番の参加者となりました。

雨のため、里山体験では、木を切るなどの森林施業体験はできませんでしたが、小さいお子

さまが多数参加されたので、こもれびの森を巡りながら動植物を案内しました。カブトムシがたくさんいる場所も案内できました。

木工教室では、バードコールとネームプレートを想定して材料を揃えましたが、みなさん想像力が豊かで、さまざまな作品ができました。

次の森林環境教育は、「里山体験と木工教室」として、11月4日(土)・5日(日)の「こもれび祭」(大学祭)に出展します。なお、木を切ったり草を刈ったりする森林整備施業は9月10日(日)です。市民のみなさんと一緒に大学の森の保全活動を行っていきたくて考えておりますので、初めての方も歓迎しています。ぜひご参加ください。(小瀬博之)

【報告】理事会・専門委員会

理事会

7月19日(水)9:00-10:00に第3回事業運営委員会を、同日10:10-12:20に第5回理事会を開催しました。主な議事をまとめて報告します。

①かわごえ環境フォーラム(2月25日開催)の実行委員会を設けることを承認しました。

②2017アースデイ・イン・川越 立門前(10月1日開催)の後援申請について、正式に申請があれば承認することにした。本会はパネル出展を実施する予定です。

③川越青年会議所「2017年度心豊かな街づくり

事業」(9月9日開催)について、参加要請を了承しました。飯島理事を中心に企画を検討し、実施します。

④川越まつり会場クリーン活動のボランティア申請を承認しました。

⑤エコプロダクツ川越2017(7月23日)のスケジュール等を確認しました。

⑥環境月間ポスターコントロールにおける「環境ネット賞」について3点を選出したとの報告がありました。

- ⑦川越市内4ロータリークラブが主催する「小江戸川越打ち水風情」(7月29日)の参加要請を了承しました。横山副理事長が対応しました。
- ⑧川越市主催の「まち歩き暑さ測定ツアー」の参加呼びかけがありました。

⑨事業運営委員会において、「全国水生生物調査」への参加について提案がありました。本会の人的資源の現状では、単独の実施は難しいところですが、会としての対応を継続して検討することにしました。(理事長 小瀬博之)

社会環境部会

社会環境部会の7月例会は、7月14日(金)13時から、猛暑のなか11人の参加で開かれました。板野代表から理事会、事業運営委員会の報告があり、当面の事業の進捗状況を確認しました。

- ①7月16日の郊外クリーン活動について、準備を進めている渡辺会員から参加者数や啓発ゼッケンなどの説明がありました。
- ②7月23日につばさ館で開かれる「エコプロダクツ川越2017」のかわごえ環境ネットコーナー準備状況について、横山副理事長と原嶋理事の方から説明があり、会員の協力要請もありました。
- ③8月2日の一番街の「まち歩き暑さ測定ツアー」を中心に、市民環境調査の参加状況の説明があり、黒球式熱中症指数計の貸与での測定参加などが要望されました。
- ④続いて、懸案の「環境施設見学」について、

板野代表から候補を2つに絞った経過と内容を説明、討議した結果、次のように決まりました。

9月15日(金)前橋市のサンデンフォレスト・赤城事業所の省エネと自然を生かした工場のレイアウトと、美しい花が楽しめるぐんまフラワーパークを回る行程に決まり、8月号でPRを進めることにしました。

- ⑤9月9日に北公民館で開催される「パッションフルーツ挿し木育苗講習会」の題で井口会員による「講師派遣型活動」の紹介がありました。
- ⑥11月に開催予定の環境講演会は、地球温暖化対策を主題に宮崎会員が講師選定などを進めることになりました。
- ⑦本会の予算再編の考え方についての資料が配られ、次回に討議することにし散会しました。
- 8月は10日(木)浜尾会員の司会で開きます。(代表：板野徹、報告：武田侃蔵)

自然環境部会

7月例会は14日(金)福田ビル3階にて7名の参加で開催された。

1. 活動報告

- ①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動
6/12(月)18名参加 オオバノトンボソウなど株数調査、6/26(月)13名参加「第2ふれあいの森」選択的草刈り、7/10(月)13名参加 南文化会館(ジョイフル)
- ②池辺公園定例活動 7/4(火)6名参加 ハグロソウ周辺手入れ 9:00現地
- ③甲虫調査 6月11日(日)5名参加 講師:新井浩二氏 今福雑木林 9:00集合

- ④キノコ学習会 6/12(月)7名参加、7/10(月)8名参加 13:30~16:00 川越南文化会館(ジョイフル)
- ⑤今成小学校支援3年生54名 6/14(水)「田んぼの生き物さがし」 ネット会員4名で支援 別ページ参照
- ⑥高階北小学校支援 6/19(月)3クラス91名 「(仮称)川越市森林公園」計画地 ネット会員9名で支援 別ページ参照
- ⑦菅間緑地 生き物調査 6/23(金)6名参加 コラム「川越の自然を訪ねて」を参照
- ⑧田んぼの生きもの調査 6/24(土)参加者6

0名 里山イニシアチブと共催 10:00~12:00
別ページ参照

⑨城下橋周辺 生き物調査 6/30(金) 10:00~12:00 4名参加

⑩キノコの観察会 7/2(日) 9:00~12:30 参加者29名 別ページ参照

2. 協議事項

①年次報告「かわごえの環境」原稿分担について

て

②調査活動地の選定 大堀山館跡 10月27日(金)に実施

③バス利用研修会について 那須平成の森に決定

④コラム「川越の自然を訪ねて」原稿確認など
※8月の自然環境部会は休会です。

(自然環境部会代表 賀登環)

【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・後援行事

【トピック①】環境施設視察研修会参加者募集(8月10日より受付、9月15日実施)

社会環境部会の恒例行事である環境施設の見学を、以下により実施しますのでお知らせします。詳細は本号同封の参加者募集をご覧ください。

開催日時：9月15日(金) 7:50 ウェスタ川越前集合

見学施設：①サンデンフォレスト赤城事業所(群馬県前橋市粕川町)、②ぐんまフラワーパーク(群馬県前橋市粕倉)

対象：かわごえ環境ネット会員(個人・家族、

民間団体の活動者・家族、事業者の社員・家族、行政の職員)

参加費：3,500円(フラワーパーク入園料込み)

募集人数：28人、先着受付順、受付開始8月10日(木)

申込先：パソコンメール又はFAXで、お名前と連絡先の電話番号をかわごえ環境ネット：板野まで(Fax.049-225-6729, E-mail: itano.m-t@jcom.zaq.ne.jp)

【トピック②】自然観察研修会「那須平成の森を訪ねて」(8月10日より受付、10月18日実施)

自然環境部会は、10月18日(水)に自然観察研修会を那須平成の森で行います。

那須連山の山麓に広がる森(560ha)は、希少種をはじめ多くの動植物が生息・生育しています。この豊かで多様な森で自然環境について学びます。詳細は、本号同封の募集チラシをご覧ください。

日時：10月18日(水) 7時15分 川越駅西口 ウェスタ川越前集合 少雨決行

参加費：4,000円 弁当各自持参

参加者：かわごえ環境ネット会員(個人・家族、民間団体の活動者・家族、事業者の社員・家族、行政の職員)

募集人数：45人 先着受付順

受付：8月10日(木)より

申込先：かわごえ環境ネット

賀登(かど) Tel.080-1158-9673

菊地 Tel.080-5546-2362

【後援・トピック③】「自然を感じる野外フェス in 伊佐沼公園」ステージ出展(9月9日)

9月9日(土)に伊佐沼公園において開催される「自然を感じる野外フェス in 伊佐沼公園」(主催：川越青年会議所)に、かわごえ環境ネットがステージ企画「自然を学ぶ環境セミナー」で出展予定です。詳細は、川越青年会議所ホームペ

ージ(<http://www.kawagoe-jc.or.jp/2017/>)に掲載されますのでご覧ください。本紙9月号及び本会インターネットサイトでもお伝えする予定です。

【後援・トピック④】 標語等募集 (9月15日まで) 第19回アースデイ・イン・川越実行委員会

19回目を迎えたアースデイ・イン・川越は、会場を、蓮馨寺を中心とした立門前界限に移って10年、世界平和と地球環境改善に向けた活動を進める諸団体の協力で続けられてきました。

こどもが地球を囲むチラシの図柄は第1回目から変わらず、今年も「こども食堂」などの形でこどもの未来が開けるイベントを企画しています。

今年も10月1日に開かれますが、今年のアースデイの意義を表現する文芸作品を9月20日から10月10日まで会場周辺に掲示、関心を深めて意識向上に努めることにしました。標語・短歌・俳句・川柳・都々逸の形で「世界平和」「人類共存」「地球環境」「水と緑」「子らに“愛”」の題で募集しています。9月15日が締切、アースデイ・イン・川越実行委員会までお送り下さい。

郵送先は 350-0034 川越市仙波町 3-26-16、Fax.049-222-0786、E-mail: clean@jcom.zaq.ne.jp

2017 エコ モード わせうしん めざそう! ECO-mode 地球人!
アースデイ・イン・川越 立門前
 2017 EARTH DAY in KAWAGOE TATSUMONZEN

10月1日(日)開催 掲示する文芸作品を募集!

もったいないから ありがとう! みんなの願いを集めましょう! 子供に笑顔! フードバンクやユニセフの活動、世界平和と人々の幸せを高める思いを書いて! 子供からお年寄りまで、どんどん投稿しましょう!

未来へ 心ざこめて "世界につながる、水と緑と伝統と" 愛 "のまち 川
 9月20日~10月10日 会場周辺で作品掲示
 会場: 蓮馨寺境内・熊野神社・旧鶴川産・立門前通り
 10月1日(日) 2017アースデイ・イン・川越 立門前 開催

アースデイの意義を考える短歌・俳句・川柳・都々逸・標語を募集!
 題 ●世界平和 ●人類共存 ●地球環境 ●水と緑 ●子らに“愛”
 <9月15日までに作品を、チラシ掲示の立門前協力店事務局へアースデイの会場や協力店頭で作品を掲示して紹介します。>

主催: 第19回アースデイ・イン・川越実行委員会
 後援申請中: 埼玉県/川越市/川越市教育委員会/川越環境保全連絡協議会/かわごえ環境ネット/川越市文化団体連合会ほか
 お問い合わせ◆第19回アースデイ・イン・川越 実行委員会事務局 実行委員長 武田祝蔵
 郵送先 〒350-0034 川越市仙波町 3-26-16
 TEL:090-2521-5770 FAX:049-222-0786 Email: clean@jcom.zaq.ne.jp

会合

●社会環境部会 (2017年8月度)

日時: 8月10日(木) 13:00-15:00 (通常と曜日が異なります)

場所: 福田ビル3階会議室 (川越市郭町 1-2-3)

*会員はどなたでも参加できます。

*次回は9月8日(金) 13:00-15:00 同所

◆広報委員会 (2017年9月度)

日時: 8月30日(水) 9:00-9:45

場所: 川越市役所本庁舎 3A 会議室

*次回は10月4日(水) 9:00-10:00 川越市役所本庁舎 5階フリースペース

◆事業運営委員会 (2017年度第4回)

日時: 8月30日(水) 10:00-12:00

場所: 川越市役所本庁舎 3A 会議室 (川越市元町 1-3-1)

*次回は9月20日(水) 9:00-10:00 同所

●自然環境部会 (2017年9月度)

*8月は休会

日時: 9月8日(金) 15:00-17:00

場所: 福田ビル3階会議室

*会員はどなたでも参加できます。

◆理事会 (2017年度第6回)

*8月は休会

日時: 9月20日(水) 10:00-12:00

場所: 福田ビル3階会議室

自然環境部会主催事業

<定例活動>

★「(仮称)川越市森林公園」計画地 植物調査・
保全活動 (毎月第2・第4月曜日)

*8月は休止

日時: 9月11日・25日 (月) 9:30-12:30

集合: 川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今
福1295-2)

問い合わせ: 賀登 (Tel.049-234-9366)

★池辺公園定例活動

日時: 9月5日 (火) 9:00-12:00

場所: 池辺公園 (川越市池辺1302)

問い合わせ: 菅野

<単回の調査・観察会>

★甲虫調査

日時: 9月9日 (土) 9:00 集合

場所: 川越水上公園 (川越市池辺880)

問い合わせ: 過 (Tel.049-246-1155)

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ: 谷津弘子 (Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com)

ホームページ <http://blog.canpan.info/forest-musashi/>

◎森林公園かんさつ会 (考える会主催)

日時: 8月20日 (日) 10:20-15:30

集合・時間: 10:20 国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所(入園前受付)、参加費 200 円、入園料別途、
観察用具(双眼鏡など)、昼食持参(園内レストランもあります)、雨天決行

講師にクモ研究家の新井浩司さんを迎え、トリノフンダマシなどを探します。

◎自然観察会「夜の鳴く虫観察会」(公園と考える会共催)

日時: 8月26日 (土) 16:30-19:30

集合・時間: 国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所(南口駐車場内)、16:00-受付。参加費無料 (入

園料、駐車場代は別)、懐中電灯、虫よけスプレーなど

往復はがきによる事前予約制。8月19日(土)必着で、参加者全員の名前、年齢、住所、連絡先を明記の上、355-0802 埼玉県比企郡滑川町山田1920 森林公園管理センター「夜鳴く虫観察会」係あて送付、問い合わせ先 Tel.0493-57-2111 (受付時間 9:30-17:00)

今年も講師の解説でクツワムシやスズムシの鳴き声や姿を楽しみましょう。ペット連れでの参加はご遠慮ください。

<詳細>武蔵丘陵森林公園: イベント一覧 (<http://www.shinrinkoen.jp/event/>)

福原ファームクラブ

問い合わせ: 横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

◎おいしく・楽しく農業体験

*8月は休みです。

日時: 9月9日 (土) 9:30-12:30 ごろ

10月14日 (土) 9:30-12:30 ごろ

場所: 明見院 (今福677) 近く

内容: 農作業 (B級品のお土産付き)

会費: 保険代100円、

クラブ員1家族1,000円 (年間)

2017年度予定表

月	日	活動内容予定
9	9	キャベツの収穫、片付け他
10	14	大根畑の片付け他
11	11	里芋の収穫、片付け
12	9	ブロッコリーの片付け
1	13	雑木林の手入れ、くず掃き

みなみかぜ いきいき田んぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 事務局：佐藤（Tel.049-234-8500 [9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: tanbo373@yahoo.co.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田 204-2）

いつからでも、誰でも参加でき、活動の一回体験も可です。体験だけでもしてみませんか、楽しいことうけあいですよ♪

田んぼ活動でいきいきしたいあなたを求めています！

◎農作業（金曜日の9:00-12:00）

期日：8月18日（金）・25日（金）

場所：地域交流センターに集合、農作業は近隣の田んぼです。

◎月例会（同日9:00-11:00の作業終了後）

日時：8月18日（金）11:00-12:00

場所：地域交流センター ホール

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel.070-5599-2623）
ホームページ <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬によるお米作りや生きものの賑わいを取り戻す活動を行っています。

毎月、第4土曜日の16時から行っている例会は、8月はお休みします。

◎かかし祭りのかかしづくり

日時：8月27日（日）9:00-

場所：川越市北部地域ふれあいセンター（川越市山田 1578-1）

山田地域の「ふるさと山田四季まつり」の一環としてかかしづくりに参加します。

◎「初秋」かかし祭りに参加

日時：9月3日（日）10:00-12:00

場所：北山田城西川越高校付近（大排水フェンス沿い）

◎稲刈り

日時：9月23日（土）9:00-

場所：CO江戸かわごえ「初雁の里」田んぼ（川越市福田 310 地先）

*詳細は9月号で掲載

今後の主なイベント（変更の可能性があります）

期日	時間	内容
9/23 (土)	9:00-15:00	稲刈り
10/14 (土)	10:00-15:00 (受付 9:30) 会員限定	収穫祭・・・マコモ収穫 お楽しみ企画、新米おにぎりなど

東洋大学小瀬研究室（東洋大学川越キャンパス こもれびの森・里山支援隊／地域活性化研究所）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）

こもれびの森・里山支援隊 <http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/>

<こもれびの森・里山支援隊>

◎こもれびの森・里山支援隊 森林整備施業

日時：9月10日（日）8:30 集合-16:00 解散（荒天中止）

集合場所：東洋大学川越キャンパス 4号館こもれびの道側入口（川越市鯨井 2100）

費用：無料

内容：手鋸、剪定鋏等を用いた小径木の伐採、下

刈りなど。

持ち物：汚れてもよい服装（長袖、長ズボン）、靴、手袋（軍手等）、手ぬぐい・バンダナ（ヘルメットの下に身に付けます）、タオル、飲み物、弁当など、あれば自前の道具（手鋸、剪定バサミ）

申込・問い合わせ：準備の都合上、開催日前の木曜日までにご連絡ください。

*開催案内ブログ：こもれびの森・里山支援隊

(<http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/>)

*中止の場合 Twitter で開催当日 6:30 ごろ通知

(<https://twitter.com/toyokomorebi/>)

*報告 Facebook (<https://www.facebook.com/komorebisatoyama/>)

<地域活性化研究所>

◎「昭和の街の感謝祭 2017」ワークショップ

日時：9月9日(土) 11:00-17:00

場所：蓮馨寺(川越市連雀町7-1)

参加方法：当日直接会場へ

「昭和の街」の「昭和」的なものをアンケート、まち歩きツアー、なつかし写真館で意見を募ります。参加者には当日会場で使用できるチケットを進呈します(内容は予定です)。

*詳細は東洋大学地域活性化研究所ホームページ(<http://www.toyo.ac.jp/site/irvs/>)に掲載します。

*10月1日(日)の2017アースデイ・イン・川越 立門前でも同様のイベントを出展予定。

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛(Tel&Fax.049-242-4322)・武田侃蔵(Tel.090-2521-5770)

◎「やめましょう!歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第1火曜日・第3金曜日

日時：8月18日(金)・9月5日(火) 13:30-15:00(9月15日は中止)

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第2日曜日

日時：8月13日・9月10日(日) 9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でゴミまとめ。

③第4土曜日

日時：8月26日・9月23日(土) 13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のゴミ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第4日曜日9:00より2時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の3日前までに武田(Tel.090-2521-5770)へご連絡ください。

①8月27日(日) 9:00-11:00

杉下橋右岸たもとから、上・下流川の中と堤防清掃。管理の県土事務所の工事状況の確認も含めて作業。オアシス裏で解散

②9月24日(日) 9:00-11:00

旭橋右岸集合、上下流域の両岸を清掃。旭橋左岸空地にゴミ分別して収集、解散。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：内野(Tel.049-222-1731)、当日の携帯電話連絡(Tel.090-7003-8617)

◎伊佐沼でバードウォッチング

(毎月第2日曜日、小雨決行)

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物

参加費：一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

解散：集合場所にて12:00ごろ

①8月13日(日) 10:00-12:00

サギの渡りが始まり、チュウサギ、アマサギなど、他の月に少ないサギが観察できます。

②9月10日(日) 10:00-12:00

残暑が続きますが野鳥の世界では秋、渡りの季節です。シギやチドリの仲間が沼で羽を休めています。

広報委員会からのお知らせ

●会員募集

かわごえ環境ネットは、自然を守りたい、緑

をいっぱいになりたい、川や水辺をきれいにしたい、ごみを減らしたい、歴史的街並みを大切に

したい、環境にやさしい生活をしたい、仕事で環境問題を考えたい、環境について話し合いたいなどと考えて活動したい人や団体が、協力してこれからの川越のことを考えたり、働いたり、情報交換をするための組織です。

会員になれば、毎月本紙を郵送でお届けするとともに、関連するチラシなども同封します。専門委員会の活動にも参加でき、さまざまな人的な交流や情報交流ができます。

個人会員は1,000円、5名以上の団体会員は2,000円で会員になれます。入会についての詳細は、かわごえ環境ネットホームページをご覧ください。事務局にお問い合わせください。

<http://kawagoekankyo.net/news/admission.html>



かわごえ環境ネット入会案内 QRコード

●インターネットでの情報発信

1.本紙がカラーで見られます

残念ながら会員に送付及び公民館等で配布している紙版は、モノクロの孔版印刷のために画像がつぶれてしまい、判別がつきにくい状況です。本会ホームページでは、バックナンバーを含めてカラーで本紙 PDF ファイルが見られます。鮮明な画像でぜひお楽しみください。スマートフォンにも最適化されています。

<http://kawagoekankyo.net>

2. Twitter でかわごえ環境ネットをフォロー

本会 Twitter (@kawagoekankyo) は、ブログの更新と連動してツイートします。Twitter にユーザー登録してぜひフォローしてください。

<https://twitter.com/kawagoekankyo>

3. Facebook ページ「いいね！」してください

本会は、Facebook でも積極的に情報発信しています。かわごえ環境ネットからのお知らせだけでなく、イベント等の報告も逐次行っています。本紙で掲載されない速報もあります。Facebook に登録していなくてもご覧いただけますが、ぜひアカウント登録を行って「いいね！」

してください。

<https://www.facebook.com/kawagoekankyonet>



かわごえ環境ネット Facebook ページ



QR ホームページ



Twitter



Facebook ページ

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2017年9月号 (No.131, 9月上旬発行予定) の掲載原稿は、8月15日 (火) 締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト (koho@ml.kawagoekankyo.net) にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局にお問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局 (環境政策課、川越市役所本庁舎5階) に提出してください。

●おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー (8月9日~9月30日)

日	月	火	水	木	金	土	
★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他 詳細は個別の記事をご覧ください		8/9	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14
8/13 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	8/14	8/15 ○本紙9月号投稿期限	8/16	8/17	8/18 ◎9:00 農作業・月例会(みなみかぜ) ◎13:30 まち美化啓発運動	8/19	
8/20 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25 ◎9:00 農作業(みなみかぜ)	8/26 ◎13:30 まち美化啓発活動 ◎16:30 武蔵丘陵森林公園自然観察会	
8/27 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃 ◎9:00 かかしづくり	8/28	8/29	8/30 ◆9:00 広報委員会 ◆10:00 事業運営委員会	8/31	9/1	9/2	
9/3 ◎10:00 かかし祭り	9/4	9/5 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	9/6	9/7	9/8 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	9/9 ★9:00 甲虫調査 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験 ◎11:00 昭和の街の感謝祭 ★12:00 自然を感じる野外フェス in 伊佐沼公園	
9/10 ◎8:30 森林整備施業(こもれびの森) ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	9/11 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地調査・保全活動	9/12	9/13	9/14	9/15 ●7:50 環境施設視察研修会(群馬) ○アースデイ・イン・川越標語等応募締切 ○本紙10月号投稿期限	9/16	
9/17	9/18 敬老の日	9/19	9/20 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会	9/21	9/22	9/23 秋分の日 ◎9:00 稲刈り(かわごえ里山) ◎13:30 まち美化啓発活動	
9/24 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	9/25 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地調査・保全活動	9/26	9/27	9/28	9/29	9/30	

月刊 かわごえ環境ネット 2017年8月号 No.130

発行日 2017年8月7日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net/>